

# 麻那姫感謝祭

麻那姫感謝祭実行委員会



麻那姫感謝祭での麻那姫伝説劇

# おおの 議会だより

No.182 平成25年10月25日

発行：大野市議会  
 〒 912-8666 福井県大野市天神町 1-1  
 Tel 0779-66-1111 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>  
 編集：議会だより編集委員会



麻那姫像

## 主な内容

- |  |         |
|--|---------|
| 補正予算に保育所職員の賃金改善を行うための補助を追加(定例会の概要)     | 2 ページ   |
| 8 議員が市政を問う(一般質問)                       | 3~6 ページ |
| 各議員の表決結果                               | 7 ページ   |
| 陳情の処理結果、政府関係機関へ意見書を提出、第385回臨時会の概要      | 8 ページ   |
| うらら館の早期再開に向け積極的に取り組むべきでは(常任委員会審査Q&A)   | 9 ページ   |
| 空き家等の適正管理について(常任委員会報告)                 | 10 ページ  |
| 国道158号は福井国体に間に合うように早期整備を要望すべき(特別委員会報告) | 11 ページ  |
| 定例会審議の進み方、本会議・委員会の傍聴について               | 12 ページ  |

# 9月 定例会市議会 概要

第386回定例会市議会は、9月2日から9月19日までの18日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成25年度の一般会計及び五つの特別会計並びに水道事業会計の補正予算案、そして市道路線の認定及び廃止、人権擁護委員候補者の推薦など11議案のほか、陳情2件、市会案3件について審議しました。審議結果は、7ページのとおりでです。

なお、平成24年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算認定議案については、10・11月中旬に審査することに決まりました。

## 一般会計予算に 9804万円を 追加

平成25年度一般会計予算に、9804万円が追加され、補正後の累計額が173億2694万円となりました。前年度9月補正後と比較すると、1・2割の減です。民間保育所職員の賃金改善を行うための補助1526万円や荒島保育園と富田幼稚園の統合に伴う園庭整備950万円、戸別所得補償経営安定推進事業1173万円などが追加されました。

### 保育所職員の賃金改善を行うための 私立保育所に対する補助などを追加

補正のあった主な内容	補正額
★ 春日倉庫の解体費の増額	300万円
★ 在宅要介護高齢者の住宅改造に係る補助金の増額	400万円
★ 子ども・子育て支援新制度に対応する事業計画の検討に要する経費	22万円
★ 保育所職員の賃金改善を行うための私立保育所に対する補助	1526万円
★ 農地集積に係る農地集積協力金の増額(戸別所得補償経営安定推進事業)	1173万円
★ 六間通りの歩道に給排水設備を整備する費用	547万円
★ 和泉地区における小型除雪機購入経費の一部補助	116万円
★ 荒島保育園と富田幼稚園の統合に伴い富田幼稚園に園庭を整備する経費	950万円

### 補正のあった特別会計等の補正額と補正後の累計額

会計名	補正額	補正後累計額
国民健康保険事業	619万円	41億3369万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	6237万円	38億6917万円
介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	9万円	1575万円
簡易水道事業	2538万円	1億6741万円
農業集落排水事業	1985万円	3億6219万円
下水道事業	702万円	10億4911万円
水道事業会計	406万円	2億4646万円

### その他の議案

▼特別会計等補正予算  
国民健康保険事業では、希望者増による人間ドックの委託料や前年度の精算に伴う国庫負担金等償還金など、介護保険事業では、前年度の精算に伴う基金への積み立てなどが計上されました。

農業集落排水事業では、処理施設の維持管理業務を委託するため、平成26年度から平成28年度までの期間設定で限度額を1億2451万円として債務負担行為がなされました。

下水道事業では、徴収等に係るシステム改修経費や電話設備の修繕料など、水道事業では、遠方監視装置の管理経費などが追加されました。各会計の補正額は、上の表のとおりです。

▼市道路線の認定及び廃止  
認定された路線は6路線で、真名川堤防河川敷を利用したサイクリングコース1路線、国道157号大野バイパスの供用開始に伴う国、県、市道の道路網見直しにより、国及び県から移管された4路線などです。  
廃止された市道は、国道157号大野バイパスの供用開始に伴う国、県、市道の道路網見直しにより、国道及び県道となる4路線です。



# 中部縦貫自動車道路整備に伴う 地域づくりは

## 越前おおのまるごと道の駅ビジョンの 実現に向けた施策の着実な実施



島口 敏榮 議員

新生おおの

**問** 中部縦貫自動車道路の整備促進に向けた今後の要望活動等の方針や本道路を活用した地域づくりをどのように進めていくのか。

**答** 中部縦貫自動車道路の未事業化区間の事業化と越前おおのまるごと道の駅ビジョン実現の核となる施設の組み入れや予算の確保を要望していくとともに、本道路の全線開通を見据えて各種施策を着実に推進し、交流人口の拡大を図り地域の活性化につなげていきたい。

**問** 結の故郷づくりに向けた教育活動の今後の方針や考え方は。

**答** 学校教育では小学生ふるさと学習交流会、ふるさと大野の先人を学ぶ道徳授業、中学生みこしダンスパフォーマンス、社会教育では小学生ふるさと芸能発表会、文化振興では大野市美術展、越前大野感性はがき展、ス

ポーツ振興では小中学生の体育活動の参加拡大に取り組んでいるが、今後もこれらの一層の充実を図り、継続して進めていきたい。

**問** 和泉地区の特産振興として、栽培面積の拡大や生産母体・生産組織の育成強化などの方針をどう考えているのか。

**答** 生産者の高齢化、獣害被害の拡大、栽培の機械化が困難であることなど多くの課題もあるが、越前おおのブランドの供給地の一つとして振興策を立てて取り組んでいきたい。

**問** 公共施設再編計画の今後の方策決定はどうなっているのか。

**答** 具体的な取り組み内容や工程を決定し、大野市行政改革推進本部で厳格な進捗管理を行うなど、不転の決意で取り組んでいく。

# TPPに負けない環境保全型農業を 推進していくのか

## 大野の自然や盆地の気象条件を生かした 環境保全型農業を継続して進める



松田 元栄 議員

新風おおの

**問** TPPに負けない環境保全型農業を推進していくのか。

**答** 本市の農業が生き残るには消費者の望む、安全で安心な農産物を生産することが重要であり、大野の自然や盆地特有の気象条件を生かした環境保全型農業を継続して進める。

**問** 6次産業化と農商工連携の現状と展開は。

**答** 平成22年度から6次産業化のための支援事業に8経営体が参画している。農業者と商工業者が連携した商品開発など農商工連携の取り組みも増えている。国は、所得倍増を目指し、6次産業化推進を重点項目としており、市独自の支援策も講じて6次産業化を推進していく。

**問** 環境王国認定後の取り組み状況と展開は。

**答** 市民に、環境王国の価値を周知するため、環

境王国ラベルの普及に取り組み、生産・加工者が自信を持って販売促進や販路開拓ができるようになる。引き続き、環境保全型農業を推進し、他環境王国との連携強化を図る。

**問** 平成大野屋が2275万円の負債を抱え、営業赤字が続いている現状をどう考えるか。

**答** 経営状況は厳しい状況にあり、より一層の経営努力と、越前おおのブランドの情報発信、特産品の販路拡大・販路開拓など地域産業の振興や地域の活性化に向けた取り組みを進め、累積赤字額の改善を着実に進める。

**問** 組織改革と民間会社への移行を考えては。

**答** 組織の在り方の見直しは実行する。民間に任せるとは随分議論したが、行政が株の50%余りを有し、多数の市民株主がいる会社の性格上、なかなか理解が得られない。

## 広報の重要性をどう考えるのか

「広報おのの」は市民と行政を結ぶ  
最も身近な広報手段



双葉会

高岡 和行 議員

**問** 市民への広報の重要性をどのように考えるか。

**答** 広報誌「広報おのの」は、市民と行政を結ぶ最も身近な広報手段と捉えている。市内企業から有料広告の協賛金を頂くなど、協力を得るとともに、職員一人一人が、広報マン、広聴マンとして市民の声を聞くことができるよう自己研さんを促している。

**問** 広報おのので行政と民間の情報と区別されていないのではないか。また、6コマの広告欄が全て埋まったことがない理由は。

**答** 民間の広報、民間が伝えるべき広報というのは把握していない。広告については積極的にお願いしていないのが事実である。

**問** TPP妥結と、消費税8割へのアップが本市に与える影響はどうか。

**答** 政府の統一試算によれば農業部門では、米の

価格が26割下落するとされている。非農業分野での影響額を具体的に試算することは難しい。特定の国が利益を得るのならTPPに参加してほしくないというのが率直な考えである。消費増税の地方における影響は、増税後の景気悪化対策を国で検討中であり、その内容が不透明なため、正確に述べられない。

**問** 福井社会保険病院の今後の経過は。

**答** 現在、年金・健康保険福祉施設整理機構が委託運営しているが、平成26年4月からは改組され、職員はいったん退職して、それから新たに雇用されるという情報を社会保険病院から確認した。確かに病院の運営現場としては大きな問題であると感じた。

**問** 福井社会保険病院が、福井勝山総合病院になると聞いているがどうか。

**答** 立地自治体に配慮して名前を付けるとのこと。

一般質問

## 市民に開かれた議会にするため、 議会と理事者の関係は

市議会は、市長と対等の立場にあり  
団体意思を決定する最高の機関



日本共産党・大野市議員

榮 正夫 議員

**問** 議会が、市民に開かれた議会を維持・発展するためには、議会と執行機関が共に作り上げていくものと考えているが、執行機関は市議会をどのように位置づけているのか。

**答** 市議会は、市長と対等の立場であり、役割は異なっているが、市民福祉の向上という共通の目的のため、ときに協力・協調関係を築き、ときに相互けん制する車の両輪の関係にあると考えている。

**問** 理事者の議会答弁は、なぜ正確を期すのか。

**答** 事務を管理し、着実に執行する責務を有する行政としては、市議会と密接な関係を保ちながら、十分な議論を交わし、コンセンサスを得て、各施策を展開するため、社会情勢や市民の要望を的確に把握し、適宜適切な資料を議会に提出するとともに、議会での答弁は正確を期すことはもちろん、

丁寧な答弁を心掛けています。  
**問** 議会での不正確な答弁・間違った答弁に理事者が気が付いたときの措置は。

**答** 大野市議会運営の手引き、「第3章 本会議」、第17節の「発言の取り消しまたは訂正を適用する。  
**問** 理事者が提出し、私の処理はどのようにするのか。

**答** 事前に通告がなかったため、答弁しなかったが、平成25年8月6日に大野市が福井地方裁判所に提示した陳述書の内容であれば、この陳述書は裁判で主張するためのものであり、答弁を控えたい。



## 北陸新幹線の開業効果を 本市にもたらす方策は

### 金沢駅から誘客する方策を県に要望している



前田 政美 議員

新生おおの

**問** 北陸新幹線の金沢開業、さらに敦賀までの開業の効果は。また、その効果を本市にもたらす方策は。

**答** 金沢開業により首都圏をはじめ沿線各地域において北陸の知名度が向上するとともに、所要時間の短縮により北陸への交流人口の増加が期待でき、また首都圏と福井間のアクセスに北陸回りが加わることで回遊性が高まる。

敦賀までの開業については、まずは福井駅の開業が大きな節目になると捉えており、福井駅を中心とする流入人口の増により、本市への一定の経済効果が期待できる。

本市としてはJR各社などで実施されるデステイネーションキャンペーンにおいて越美北線を取り上げ、金沢駅から直通列車などの運行及び体験ツアーを実施することを

県に要望している。

**問** 通年型のイベントとした築城430年祭の反省点を結の故郷発祥祭にどのように反映させるのか。

**答** 築城430年祭では、運営に多くの市民や団体、企業の関係者が関与したことや、市民が主体となった越前おおのどんちゃん祭など新たな賑わいが創出されたことなど、市民のまちづくりへの参加の機運は確実に高まった。また、越前おおのの情報発信を積極的に行い、中京圏などにおける知名度の向上と越前美濃街道沿線都市との広域交流の拡充につながったと考えている。

結の故郷発祥祭においても、越前おおのの認知度やイメージの向上、観光客の集客、地域の活性化に寄与する市民や民間団体などが自ら実施する事業を募集することとしている。

## 人口減少・高齢化社会における まちづくり施策は

### 住みやすさの向上などの施策を 全庁体制で検討する



石塚 淳子 議員

新風おおの

**問** 人口減少社会、高齢化社会を豊かで安定的なものにするため、どのようなまちづくり施策を展開させていくのか。

**答** 副市長をはじめ関係部課長で構成する総合施策会議において、外部の専門家をオブザーバーとして招き、働く場の創出や安心して子どもを生育する環境づくり、高齢者が元気に活躍する社会づくり、住みやすさの向上などの施策を全庁体制で検討している。また、

高齢化社会では、要介護状態にならずに、生きがいを持って元気に暮らしていくことが大切であり、生涯現役社会を目指して、高齢者の生きがいづくりと社会参加を推進する。

**問** 高齢者ドライバーによる事故の現状と対策は。  
**答** 平成25年1月から7月末までの65歳以上の高齢者ドライバーが関わる事故は、人身事故が12件

で全体の約26%、物損事故が85件で全体の約25%となっている。

高齢者の交通事故の減少を図るため、昨年4月から大野市に住民登録のある65歳以上の方で運転免許証を自主返納した方を対象に、まちなか循環バスなどの無料乗車券を3年間交付する「運転免許自主返納支援事業」を実施している。この事業の周知を図り、高齢者ドライバーの事故が減少するよう努める。

**問** 県立高校は災害時避難場所に指定できないのか。  
**答** 本市における拠点避難所の収容人数の合計は9089人で、県の地域防災計画で想定される避難想定人数の2581人を大きく上回っているため、今のところ県立高校を避難所として指定することは考えていない。

# アベノミクスで地域経済は よくなっていくか

大野では景気の上向きや賃上げには至っていない



日本共産党・大野市議員  
浦井 智治 議員

- 問** アベノミクスによる円安で、材料、経費等が上がっている。果たして市内の中小業者の経営はよくなっていくのか。
- 答** 8月に公表された地域経済動向によれば、景気判断としては多くの地域で上方に変更し、個人消費も増加傾向となり、また雇用情勢が全地域で上昇しているとされている。しかしながら、中小企業が多い本市においてはアベノミクスで景気の上向きや賃上げに結びつく効果は現れていないと思う。
- 問** 本市の景気浮揚には、賃上げで所得を増やし、個人消費を増やすことが必要である。内需拡大のための市の取り組みは何か。
- 答** 今のところ国の施策が出ていないので、具体的に新しい施策はないが、既存の元氣チャレンジ支援事業や各制度融資等で
- 問** 中小企業を支援したい。国保税が高くなった理由は国庫負担を50割から25割に減らしたことが原因ではないか。
- 答** 国保の運営が厳しくなっているのは財政上の問題があるのは確かだ。県等を通じ、国庫負担の引き上げを国に強く要望している。
- 問** 鳥獣害対策のための電気柵設置は、草刈りや春秋の設置と取り外しなど大変な手間になっている。住民の負担を減らすため恒久柵の設置を検討すべきでは。
- 答** 長年補修が不要で農業者にとって負担がほとんどない恒久柵の整備を、国や県の高率補助が受けられる土地改良事業によって実施できるよう検討している。

一般質問

# 「子ども・子育て会議」の委員を 公募するの

委員の公募はしない



新風おおの  
梅林 厚子 議員

- 問** 平成27年から5年間の「子ども子育て支援事業計画」策定に当たり、「子ども・子育て会議」の役割をどのように考えるか。
- 答** ①子ども・子育て支援事業計画に子育て当事者などの関係者の意見を反映する。②子どもや子育て家庭の実情を踏まえて実施することの進捗の管理。③策定後の計画の定期的な点検、評価など。
- 今後、施策の充実を図り、家庭、学校、地域などと連携しながら、子どもたちが健やかに成長できる社会の実現を目指す。
- 問** 「地方版子ども・子育て会議」は条例で定めるところにより置かれるとされているが大野市は。
- 答** 条例に基づかない合議制の機関とする。
- 問** 子ども・子育て会議の委員の公募は。
- 答** 子どもの保護者を対象とするアンケート調査を実施する予定であり、相当程度の意見の把握はできる。よって公募はしない。
- 問** 平成28年3月の発電所の水利権更新の進捗状況は。
- 答** 国や県、真名川の河水を利用している土地改良区や電力事業者と協力し、真名川ダムの弾力的管理の活用も図りながら維持流量確保に努める。
- 問** 子どもの貧困対策推進法の成立を受け、大野市の対策は。
- 答** 貧困状況にある子どもへの教育支援を検討する。
- 問** 児童・生徒のインターネット、携帯等の利用が進む中、健全な育成環境を保障する取り組みは。
- 答** 学校、児童・生徒、保護者の啓発活動の充実。安全かつ安心して利用するための意識の醸成。ネット上のトラブルに関係機関と連携して対応する。

# 平成25年9月 第386回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	山崎利昭	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	前田政美	石塚淳子	宮澤秀樹	川端義秀	松原啓治	藤堂勝義	高岡和行	兼井大	島口敏榮	浦井智治	本田章	畑中章男	砂子三郎	榮正夫	
市長提案	57 平成25年度大野市一般会計補正予算(第2号)案	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58 平成25年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59 平成25年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60 平成25年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61 平成25年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62 平成25年度大野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	63 平成25年度大野市水道事業会計補正予算(第1号)案	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	64 大野市道路線の認定及び廃止について	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	65 平成24年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66 平成24年度大野市水道事業会計の決算認定について	継続審査	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
67 人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市会案	4 地方税財源の充実確保に関する意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 河川環境整備に関する意見書案	可決	○	○	○	○	-	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	6 地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	趣旨採択	趣	趣	趣	趣	-	趣	趣	趣	/	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣
	7 九頭竜川・真名川の河川内に自然成育した立木の除去対策に関する陳情書	採択	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	賛	/	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

(議長(松原啓治氏)は採決に加わらないので「/」で表示。欠席、除斥等による不参加「-」)  
 議案に賛成○、反対×。  
 請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」

## 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨(具体的に)
- ②提出年月日、提出者の住所・氏名(押印必要)
- ③請願書の場合は、紹介議員の署名(1人でよい)

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
 (0779-66-1111 内線 253)

## 会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や市役所窓口で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。また、各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求めることができます。ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

## 寄付行為の禁止

議員は、お祭のときなどにお金を寄付したり、お酒を届けることを禁止されています。有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いします。





## 陳情

▼地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

○陳情者

自治労福井県本部

執行委員長 見世重毅

○審査結果 趣旨採択

▼九頭竜川・真名川の河川内に自然成育した立木の除去対策に関する陳情書

○陳情者

富田地区区長会

会長 城地 諭

○審査結果 採択

## 人事案件

▼人権擁護委員候補者の推薦

引き続き上村鈴子氏(堂本)を推薦することに同意しました。

## 意見書

▼地方税財源の充実確保に関する意見書

地方財政が社会保障関係費などの増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、

地方税財源の充実確保が不可欠であることから、地方交付税の増額による一般財源総額を確保すること、また個人住民税の充実を図るとともに、政策的な税額控除を導入しないことや、法人住民税の均等割税率を引き上げることなど地方税財源の充実確保について政府関係機関へ求めるものです。

▼森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書

地球温暖化を防止するために、森林の整備・保全等や再生可能エネルギーの活用などの取り組みを山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠ですが、これら市町村では、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化など厳しい情勢にあり、その結果、山そのものが荒廃し、自然災害等の脅威に国民の生命財産が脅かされるといった事態が生じています。このことから、自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図ることに加え、

森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえて、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みを構築するよう政府関係機関へ求めるものです。

▼河川環境整備に関する意見書

本市管内の一級河川において、砂や泥の堆積地ができていくところや、その堆積地が川洲となり雑木などが広範囲にわたり茂っている箇所が認められます。

このような樹林化した川洲が鳥獣の営巣地などとなっており、有害鳥獣による周辺の農作物被害が増大しているとともに、河積阻害による治水問題も懸念されるほか、本来の河川環境でなくなったことから、市民の河川等に対する愛着も低下しつつあります。このため、河川管理者において雑木伐採や浚渫などの計画的な河川環境整備を図るとともに、市の取り組みに対して財政支援を講じるよう、政府関係機関と県に求めるものです。

## 第385回臨時市議会の概要

第385回臨時市議会が、8月5日に開催されました。工事請負契約に関する議案2件、物品売買契約に関する議案2件が審議され、いずれも全会一致で可決されました。議案の内容は、次のとおりです。

### ○九頭竜温泉「平成の湯」再整備工事請負契約

契約金額 2億4108万円(消費税等含む。)

契約先 株式会社 長崎組

契約内容 鉄骨平屋建て温浴施設の建築、電気設備及び機械設備に係る工事一式

### ○消防救急デジタル無線整備工事請負契約

契約金額 3億2980万5000円(消費税等含む。)

契約先 北陸通信工業株式会社 福井支店

契約内容 基地局整備、車載型移動局無線機、携帯型移動局無線機に係る無線整備工事一式

### ○除雪車更新事業物品売買契約

契約金額 2415万円(消費税等含む。)

契約先 北陸川崎産業株式会社

契約内容 除雪ドーザー(15t級)1台及び装備品一式

### ○救助工作車売買契約

契約金額 7350万円(消費税等含む。)

契約先 安全産業株式会社

契約内容 救助工作車Ⅱ型1台並びに装備品、積載品及び艀装一式



# 常任委員会審査



市長から提出された議案等を審査するため、各委員会が開催されました。委員会における主な質疑等の要旨は次のとおりです。

## 産経建設

**問** うらら館の早期再開に向けて積極的に取り組むべきではないか。

**答** うらら館について、**問** 抵当権が設定されている土地を本市が取得するなど早期営業再開に向けて積極的に取り組むべきではないか。

**答** 土地の取得となると、市がどの程度費用負担できるか決定する必要がある。今後、弁護士に交渉を依頼する予定である。市の考える金額で折り合いがつかない場合は、相手方から条件が出された時点で再度検討する必要がある。

**和泉地区の小型除雪機のオペレーターは十分な**

**問** 和泉地区では各地区に小型除雪機を配備しているが、オペレーターの確保はできているのか。

**答** 現在は熟練したオペレーターがおり、問題はない。

**平成大野屋の**

**改修工事について**  
**問** 平成大野屋洋館の改修工事の概要は。

**答** オープンカフェを新たに整備するほか、入り口を一つにし、かつバリアフリー化する。また、客席を増やし、合わせて厨房も拡充する。現在あるウッドデッキは老朽化したことから撤去し、市民や観光客に飲食や休憩などができる交流広場へ改修する。

**平成大野屋洋館の改修中は休業するのか。**

**答** 客が少ない冬期間に休業し、改修したい。

**国・県道の市道への移管後、除雪費はどうなるのか**

**問** 国道157号大野バ

イパスの供用開始に伴う国・県・市道の道路網見直しにより、市道の距離が短くなると聞いたが、除雪費はどうなるのか。  
**答** 除雪作業にどれ程の差が出るかは分からないが、県から移管された道路については、従前と変わらない除雪体制でやっていきたい。

## 民生環境

**簡易水道の水質検査補助予算が十分でないのでは**

**問** 簡易水道の水質検査は法律で実施が義務付けられているが、実施する地区が少ないことを理由に、検査に対する市の補助金の予算が十分でないのでは。  
**答** 事業主体である各地区に再度働き掛けるなど周知している。来年度の予算では対応したい。

**医療費の現物給付化が**

**問** 本年度の県への要望事項の中に、子ども医療

費の現物給付化に関する事項が入っていないのはなぜか。  
**答** 県下の担当課長会議で議題としているが進展しないのが現状。大野市の要望事項に入っていないのは、大野市単独で押し進めることではなく、県下一斉に足並みをそろえる必要があるため。

**胃透視より**

**胃力メラの方が**  
**問** 健康診断で実施している胃の透視より、胃力メラの方が効果的ではないのか。

**答** 胃の透視は胃の全体像を写すという点では効果があるが、胃力メラについても利用者の声という点で国・県に改善を促していきたい。

**交通公園を活用しては**

**問** 水落町の大野市交通公園を市の推し進める「自転車を活かしたまちづくり」の中で自転車に絡めた事業に活用するため、隣接する駐車場も取

り込んで活用しては。  
**答** 検討したい。

## 総務文教

**防火水槽改修工事に**

**問** 福井県奥越土木事務所が施工している六間通り整備工事が平成26年度予定の工事を本年度に前倒したことに伴い、整備対象区間に現存する防火水槽1基の改修工事に係る工事請負費68万円が補正予算に計上されているが、県の補助はないのか。

**答** 県に確認したところ、占有している各団体が費用を負担してほしいとのことだった。

**LED防犯灯は**

**マイマイガに**  
**問** LEDの防犯灯設置補助金が補正予算に計上されているが、マイマイガが寄つてこないなどの効果があるのか。

**答** 普通の虫が蛍光灯より来ないのは明らかであるが、マイマイガに効果

があるという根拠はない。しかし、効果があるという噂が広がって申請が多く出てきているという状況である。

**警報発令下での**

**総合防災訓練も大切では**  
**問** 9月1日に予定されていた大野市総合防災訓練が警報発令に伴い中止されたが、そういった状況下での訓練が大切ではないのか。

**答** 前日の8月31日夕方から大雨警報、災害警報及び土砂災害警戒情報が相次いで発表されたことに伴い、災害の危険性が非常に高まったという点とでやむを得ず中止と決定した。

発災時に防災訓練のため誰も対応できない事態を避け、また各機関へ連絡をするため、前日に中止を決定したものであり、訓練途中に発災した場合も中止することとしている。

今回の事例を来年度に向けてよく検討して対応したい。

常任委員会報告

総務文教

空き家等の

適正管理について

本年度に入り空き家の実態調査を46件行い、緊急に対応が必要で所在が特定できた所有者に対し、助言又は指導書を20件発送した。

その結果、取り壊し撤去は3件、何らかの改善処置がなされたものが2件、病気や経済的理由により現状では対処困難との回答が2件あった。

また、指導書を発送したにもかかわらず、何の連絡もなく放置されている物件や倒産等により破産宣告を受けているもの、相続関係で係争中の物件等合わせて30件余りあった。

「大野市空き家等の適正管理に関する条例」が施行されて初めての冬を迎えるに当たり、積雪等により倒壊の恐れのある建物の近隣住民が安全に暮らせるよう、

適切に取り組まれない。

公共施設再編計画の

中間報告について

公共施設再編計画に係る中間報告の説明があった。

本委員会が所管する公共施設の在り方について委員から意見が出された。

「和泉地区の公共施設については、今後も和泉地域審議会などで十分に協議して、和泉地域の住民や大野市民の目線に立って、慎重に議論を尽くしてほしい」と、また「本市の体育施設については、他市の体育施設の利用状況なども調べて、利用者が使いやすいようにしてほしい」といった意見が出された。

産経建設

和泉地区の

特産振興を図れ

和泉地区の特産振興を推し進めるため、現在行っている出荷奨励金制

度ではなく、市内他地区との互助制度など、真に生産拡大に資する対策を打ち出し、中期計画を明確にした上で、市内の連携を密にし、市内の関係機関・団体と一丸になつて取り組まれない。

新たな有害鳥獣を

含めた対策を

イノシシやサル又はカラスやカワウといった従来からの有害鳥獣に加えて、最近、新たにアライグマやテンなどの捕獲実績が増えつつあるとのことである。

農作物への被害と、人的な被害を防ぐためにも、捕獲をはじめとする、さ



捕獲されたアライグマ

らなる有害鳥獣対策を講じらねばならない。

平成大野屋が

本市の6次産業化を

先導すべき

平成大野屋において、6次産業化のモデルとなる商品開発を行うことで、本市における6次産業化を先導すべきではないかとの意見が述べられた。

公共施設の再編計画は

スワップに踏み込んで

公共施設再編計画の中間報告について、少子

高齢化が進行している本市において、将来の財政見通しは厳しく、また

国の財政支援が継続していくことも不透明な状況にあることから、現状維持ありきでなく、スワップに思い切って踏み込んだものにすべきではないかとの意見が述べられた。

また、本市における事業展開を熟慮せず、安易に方向性を示している施設があるとの指摘も

あった。

民生環境

合併浄化槽設置補助事業の

執行は下水道事業普及の

障害とならないように

今回、合併浄化槽の設置数の増加に伴い新たに15基分の設置補助金の補正予算が組まれている。

下水道事業は第4期事業認可取得手続きを行っているところでもあるので、市の進めている公共下水道普及の障害にならないように本事業を執行されたい。

農業集落排水施設維持管理

業務の一括委託については

農業集落排水施設の維持管理業務については、従前の維持管理業務に加え、これまで地区ごとに行っていた汚水槽の清掃、水質検査、電気保安設備についても市が新たに一括委託し、経営の効率化、業務の円滑化を図るとの説明があった。

この委託業務に関しては、経費削減のみに傾注することなく、電気設備、水質検査それぞれの専門性に配慮し、価格設定にあたっては、下請け業者を意識した設定をされたい。

「大野市子ども子育て会議」

設置に向けて

市はこのほど「子育て支援事業計画」策定の準備のため、これに係る経費を補正し「大野市子ども・子育て会議」の設置要綱を設けることとしている。

委員からは、要綱ではなく条例による設置を強く望む意見もあったが、当委員会としては、設置のための根拠が条例であれば、要綱であれば、この会議の中で子どもと子育てに関する議論が十分になされ、市民の意見が十分に反映された計画が策定されることが重要であり、その点を踏まえた会議の進捗を切に望むものである。



特別委員会報告

中部縦貫自動車道・  
国道158号整備促進

▼中部縦貫自動車道  
永平寺大野道路の福井北・松岡間、永平寺東・上志比間いずれも順調に工事が進捗している。

大野油坂道路の大野東・和泉間は、環境調査業務を進めるとともに、道路、橋梁及びトンネルの詳細設計業務や地質調査業務など、新たに5本の工事が発注されたとの説明であった。

和泉・油坂間は、今後、予備設計、地元設計協議を進め、今年度中の幅員設置を目指しているとのことである。

残る大野・大野東間の未事業区間は、平成26年度の事業採択と越前おののまるごと道の駅ビジョン実現の核となる施設の整備について、6月定例会以降、4回にわたる要望活動が行われている。現在、国土交通省は、周辺地域に与える振動や騒音などの環境調査を進めており、調査完了後、ルートや構造を決定する

予定とのことである。

▼国道158号  
境寺計石バイパスは、9月中旬に開催する関係地区への説明会の意見を基に、地元設計協議を進め、年度内に協議を完了する予定とのことである。

委員からは「福井国体に間に合うように、県へ早期整備を要望すべきではないのか」との意見があり、理事者からは「全線完成は無理であっても、可能な限り整備を進めてほしい」と強く要望している」との答弁であった。

▼国道157号大野バイパス  
平成28年度の供用開始に向け、菖蒲池交差点から吉交差点間で工事が順調に進められているが、中保・吉間では、用地買収率93%、物件補償率92%となっており、残る地権者と引き続き交渉を進めるとともに、土地収用も視野に入れているとの説明であった。

議会等改革推進

仮称、大野市議会基本

条例の制定を目指し、協議を進めている。

まず、行政視察については、議会基本条例の制定に関する先進地の事例を学ぶため、本年8月6日、7日の2日間にわたり、長野県佐久市議会と松本市議会を訪問し、議会基本条例や議会モニター制度について、経緯や課題の説明を受け、また本市の現状を説明し、意見交換を行った。

その長所、短所を条例に反映すべく、委員からは活発な質問が出たところである。



松本市議会での研修の様相

次に、基本条例の検討状況については、条例の叩き台を作成する作業部会を6月定例会以降、7

月29日に開催し、「質問」「発言の取消し勧告」「附帯決議の尊重」「請願又は陳情趣旨の聴取」「採択した請願又は陳情への対応」「専決処分指定及び報告」の項目について、比較・検討を加え、作業部会案の取りまとめを行った。

9月2日には、特別委員会を開催し、作業部会から条文案の説明を受け、意見の調整を行った。また、その結果について各会派に持ち帰り、協議を経て、9月17日に特別委員会を再度開催した。その結果、「質問」「附帯決議の尊重」「請願又は陳情趣旨の聴取」「専決処分の指定及び報告」については、条文化に至った。

また、「発言の取消し勧告」及び「採択した請願又は陳情への対応」については、地方自治法又は大野市議会会議規則に準ずることとして、条文化しないこととした。

次回からは、結論を持ち越している議会の議決事件などについて検討作業を進めていきたい。

議 会 日 誌

◆8月

- 5日 第385回臨時市議会
- 26日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会

◆9月

- 2日～19日 第386回定例会市議会
- 4日 全国過疎地域自立促進連盟理事会(東京都)

◆10月

- 2日 長崎県島原市議会行政視察来訪
- 2日～10日 全国市議会議長会欧州視察調査団
- 9日～11日 総務文教常任委員会行政視察  
(秋田県大仙市、大館市)
- 15日～21日 決算特別委員会審査日
- 21日 福井県市議会議長会中央要望活動(東京都)

- 24日 岡山県奈義町行政視察来訪
- 28日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
- 28日 岩手県葛巻町行政視察来訪
- 30日 福井県市町議員合同研修会(福井市)
- 30日 北信越市議会事務局協議会定例会  
(大野市:結とびあ)

◆11月

- 12日 佐賀県唐津市行政視察来訪
- 13日 福井県市議会議員研修会(大野市:めいりん)
- 14・15日 議会だより編集委員会行政視察
- 15日 岩手県塩竈市行政視察来訪
- 18日 全国市議会議長会建設運輸委員会(東京都)



# 定例会審議の進み方

本会議初日	1 開 会	本会議が開かれます。
	2 会議録署名議員の指名	本会議の内容を記録したものを「会議録」といいます。会議録が正しく記録されているかを確認する議員2人を決めます。
	3 会期の決定	いつからいつまで本会議を開催するか、また委員会等の日程を決定します。
	4 議案の提案理由の説明	市長は、大野市のお金の使い方(予算)やルール(条例)などをこうしたいと提案します。これを「議案」といいます。ここでは、議案を提案した理由が説明されます。
(各議員は、議案について調査・研究を行います。)		
本会議2日目	5 一般質問	議案について分からない点や、大野市の施策全般について、こうした方がいいという点などを質問します。 この質問に対して、市長は考え方や意見を答えます。
本会議3日目	6 一般質問	
	7 委員会付託 (いいんかいふたく)	議案の内容にもとづいて担当の委員会を決め、議案のくわしい審査を委員会に委ねます。
<p>～委員会審査～</p> <p>総務文教、産経建設、民生環境の三つの常任委員会を開催し、それぞれ付託された議案のくわしい説明を受け、不明な点を質問するなど議論を尽くし、常任委員会での賛否を決定します。なお、一つの常任委員会の審査日程は通常1日ですが、状況に応じて、予備日に再度開催することもあります。</p> <p>また、特に重要な事項を議論するために二つの特別委員会を設置しています。特別委員会は、定例会中のほか、必要に応じて閉会中でも委員会を開催し、議論を深めていきます。</p>		
本会議最終日	8 委員長報告	委員会での審議の結果を各委員長が報告します。
	9 質 疑	議員から委員長の報告で分からない点を質問し、委員長が答えます。
	10 討 論	議案について賛成か、反対かを主張します。
	11 採 決 (さいけつ)	最終的に、議案について賛成か反対かを決定します。通常、出席議員の過半数をもって決まります。
	12 閉 会	定例会が閉じられます。

※3月の定例会だけ、一般質問の前に代表質問が行われ質問日は3日間となります。また、各常任委員会も翌年度の当初予算を審議するため、1常任委員会の日程を2日間としています。

**○市議会を傍聴しませんか**  
本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、受け付けを済ませてから、傍聴席にお入りください。  
次回の定例会は12月に予定されています。詳しい日程につきましては、広報おおのや市ホームページでご確認ください。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。  
(0779-66-1111 内線253)

**○委員会の傍聴について**  
常任及び特別委員会は申し出により傍聴することができます。  
傍聴の申し出書は、議会開会日から受け付けますので、議会事務局までお申し出ください。なお、入室できる人数に限りがあるため、先着順で受け付けを締め切らせていただく場合があります。  
申し出書は自署された場合、押印は不要です。様式は、大野市ホームページからダウンロードできるほか、議会事務局にもご用意しています。

※次回は、1月25日の発行を予定しています。



浦高梅山  
井岡林崎  
智和厚利  
治行子昭

議会だより編集委員会

「市議会では何が行われているか知らない、分からない」といったご意見をお聞きすることがあります。

このため、編集委員会では、議会だよりが議会情報を市民の皆さまに広くお伝えする重要な手段の一つと認識し、より親しみやすく、読みやすい紙面を目指して試行錯誤を繰り返しているところです。また、内容についても定例会の概要や結果だけでなく、その結果に至った各委員会での審査の内容を掲載するとともに、前月号には本会議場の風景、今月号には定例会審議の進み方を紹介するなど、あまりお気付きになられていない情報も引き続き発信していきたいと考えています。

皆さまからの率直なご意見やご感想をお待ちしております。

(座長 山崎利昭)

編集後記